支え合うきよせ委員会
平成３１年2月１８日
【資料６】

支え合うきよせ委員会（清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体）
第８回　支え合いバックアップ部会（B 部会）記録

日時	平成 30 年 11 月 20 日(火) 14 時 30 分～15 時 30 分	場所	清瀬市役所　第一・二会議室
出席者	柳原部会長、星野副委員長、羽田委員、村田委員、近藤委員、久世委員 生活支援コーディネーター：原田、森 清瀬市：上垣　市包括：濱田　オブザーバー：社会事業大１名、日体大１名		
欠席	澁谷委員		

1　前回振り返り
　前回の振りかえり。議事録参照

2　意見交換会・支え合い体験会について
　今後の体験会を 12/18 友愛活動連絡会で実施予定。現在１層ＣＯで調整中。
＜久世委員（シニアクラブ会長）より＞
- シニアクラブ会員でない方も参加を予定している。友愛活動を通じて呼び込みたい。
- 友愛活動も各クラブでバラつき有り。都のバックアップ体制も変更になったこともあり、清瀬市は、都の助成金は辞退している。（関係書類の負担大。費用対効果薄い。）
- 友愛活動も、個人情報の壁があり、難しい一面をもつ。今回の勉強会、体験会で、新しい気付きを期待している。

3　意見交換
＜原田 CO より＞
- 友愛活動の課題の踏まえた上で、Ａ部会の高齢者 110 番の取り組みについて共有。この中で、生活支援や日常的な見守には、普段から顔が見える関係が必要であるとの話が上がっている旨の報告。

＜各委員より＞
- 普段から顔が見える関係が必要では？包括につなげるためのサポーターづくりが大事。
  社協でも独自の地域福祉活動計画を策定しているが、様々な支援員や仕組みがあるため、乱立を避けるために他の検討状況を様子見している。
- シルバーや社協の生活支援なども、支え合いの仕組みが中心にあり、その枝別れの一つの選択肢であって欲しい。災害カードを配って、つながりが出来るのはいいアイデアと感じた。
- 民生児童委員の立場でも声かけが難しい。多くの方が無視される。興味無い方に興味を持たせるのは大変。
- 年末年始のタイミング（事業所が休みとなり、高齢者の社会性が弱くなる時）に支え合いについてＰＲするのは、効果的ではないか？
- ふれあい協力員について、圏域によっては、見守り登録をされる方がゼロの地域もあり、活動自体に魅力を感じなくなって辞める人もいる。地域包括支援センターのふれあい協力員の活動に限界がある。協力員の活動が広がる仕組みが無いか。
- ふれあい協力員などもアウトリーチなどにご協力をいただけると、包括としても助かる。

＜上垣係長より＞
- 顔の見える関係づくりに関連して、市では避難行動要支援者登録制度について、要支援者と、避

難支援者（災害時に安否確認や避難誘導を行う）のマッチングを進め、個別避難支援計画を作成してもらうことを検討している。一方、災害時のみの関わりでは、介護度がついている要支援者は自分が制度に登録したこと自体を忘れてしまうなど、安否確認や避難誘導が難しい。シニアクラブの友愛訪問をする方やふれあい協力員に避難支援者として協力いただけないだろうか。

- 避難行動要支援者の登録にケアマネジャーや地域包括支援センターが関わり、その際に要支援者と避難支援者としてふれあい協力員をつなぐことが出来ないか。

【次回Ｂ部会に向けた宿題】

- シニアクラブの友愛訪問、ふれあい協力員、避難行動要支援者登録制度等の連携を進めることで、日常的な顔の見える関係づくりにつながるきかっけを作りたい。
- このため各団体で、近隣の避難行動要支援者が災害時の支援者とのマッチングを希望した場合、近隣のシニアクラブやふれあい協力員に打診し、対応が可能な方が支援者となり、当人と顔合わせや関係づくりをするような仕組みが作れないか検討する。
- 市と地域包括支援センターは、避難行動要支援者登録制度の情報提供先として、シニアクラブを追加する他、ふれあい協力員が災害時の支援者となるために必要な改正の検討を行う。

４　２層協議体立ち上げについて

本会で報告済みの為、割愛

５　Ａ部会の取り組みについて情報共有（２つのプロジェクトチームにて）

（1）個人情報勉強会について

当日資料にて鍵和田ＣＯより報告

（2）高齢者１１０番

当日、田中副部会長より中間報告

６　空き家・空きスペースの活用について

① 個人情報勉強会でチラシ配布済み報告。後日資料をメールで送付予定。

② 内容としては、貸主と借主のマッチングを図る案内のもの

→知り得た情報は、支え合うきよせ委員会とＣＯにて情報を共有する予定。

７　生活支援サービス提供団体のネットワーク作りについて

・生活支援コーディネーター主催で、年度内になる生活支援サービス提供団体の連絡会を開催予定。内容について委員との意見交換。

〈森 CO より〉

・会の目的を説明。顔を見える関係になるためのゆるいネットワークの構築を目的とする。各団体が情報共有することで活動の幅が広がり、それが地域住民のメリットにつながることを期待する。

〈各委員より〉

・方向性としては、ＣＯの想いで良い。

・サービスごとに強み/弱みがあるため、団体同士が役割を相互補完できるようなネットワークになると良い。

・住民目線としては、様々なサービスの選択肢があるのが良い。有償・無償、営利・非営利を問わず繋がりができるような会が望ましい。

〈今後について〉

・委員からの意見を踏まえた上で、CO で企画立案を進め、進捗を部会で報告する。

・ネットワーク構築により、がっちりなネットワークではなく、『ゆるいネットワーク』を当面、目指していく。

８　今後の開催予定

（1）次回　　12 月 25 日（火）　13：15～14：30 健康センター　第１会議室

次々回　　1 月 22 日(火)　13：15～14：30 中清戸地域市民センター　第２会議室

９　宿題リスト

	宿題	やる人	期限
①	シニアクラブを避難行動要支援者登録制度の情報提供先に追加することを検討	市・地域包括支援センター	未定(次回進捗報告)
②	部会の内容をシニアクラブ連合に共有。避難行動要支援者登録制度を活用しての友愛訪問を進めていくか検討	久世委員(シニアクラブ連合)	未定(次回進捗報告)
③	ふれあい協力員が災害時の支援者となるために必要な改正を検討	市・地域包括支援センター	未定(次回進捗報告)
④	12/18 シニアクラブ友愛活動勉強会　当日協力の委員の募集(メール)	生活支援 CO	近日中
⑤	生活支援サービス連絡会の企画	生活支援 CO	年度内(次回進捗報告)
⑥	委員より情報提供があった空きスペースについて調査	各２層 CO	近日中